

## 新帝釈川発電所新設工事の概要

### 【工事概要】

広島県北東部に位置する帝釈川発電所は高梁川水系帝釈川上流の帝釈川ダムおよび福柵川取水ダムから導水している最大出力 4,400kWのダム水路式発電所です。

帝釈川ダムは、大正 13 年に完成した当社最古の重力式ダムでありダム直下で水圧を減勢して発電所へ導水しています。このたび、洪水処理能力の向上と構造上の安全を将来にわたって確保するよう洪水吐きゲートの増設と堤体の補強を行う計画です。

この帝釈川ダムの改造に併せ、圧力導水路と帝釈川発電所の直上流へ最大出力 11,000kWのダム水路式発電所を新設して、帝釈川発電所を再開発するものです。

平成 15 年 5 月に着工し、平成 18 年 6 月に運転開始を予定です。

中国電力としましては、平成 14 年 9 月運開の奥津第二(発)以来の水力発電所新設工事です。

### 【進捗状況】

1. 現在（平成 17 年 5 月末時点）の工事の進捗状況
  - ・ダム堤体コンクリート打設中
  - ・導水路トンネルコンクリート工事中
  - ・ドラフト・ケーシング据付済、水車・発電機据付基礎部工事中
2. 今後の工事予定（電気関係）
  - ・平成 17 年 6～9 月：水車・発電機本体据付
  - ・平成 17 年 10～11 月：無水試験
  - ・平成 18 年 3～6 月：有水試験

図 1 位置図

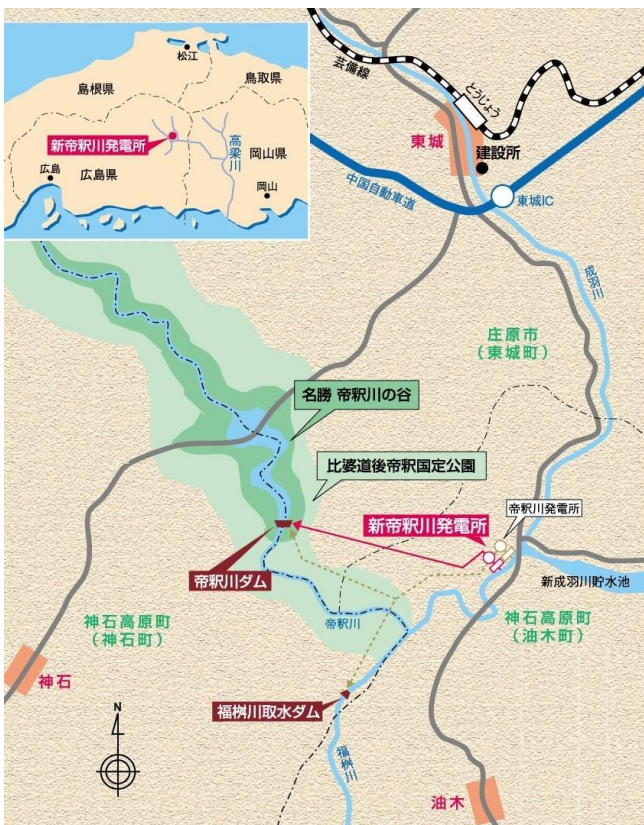


表 1 設備概要

水系・河川名		高梁川水系帝釈川
発電方式		ダム水路式
最大出力		11,000kW
最大使用水量		10.0m <sup>3</sup> /s
有効落差		129.00m
水車	形式	立軸フランシス水車
	台数	1台
発電機	形式	立軸同期発電機
	台数	1台